

連結決算ハイライト

(単位:千円)

	前期 2008年度	当期 2009年度
売上高	402,477	266,239
経常損失(△)	△960,789	△609,533
当期純損失(△)	△1,012,348	△615,542
総資産	1,107,193	475,796
純資産	932,137	396,550
自己資本比率	82.5%	80.6%

株主の皆様へ、当期の業績と今後の方針につきまして、 謹んでご報告申し上げます。

当社グループは、日本やアジアにおける「PGx (ファーマコゲノミクス)」、すなわち「遺伝子情報に基づく個人ごとの医薬品の効果や副作用の発生状況の違いなどに関する研究」の普及を通じて、個人ごとの体質に合わせた、効能に優れて副作用の少ない医療・製薬技術の進歩に貢献することをめざしています。

こうした企業方針のもと、医薬メーカーに向けた「バイオマーカー創薬支援事業」や、遺伝子検査技術をもとに個人向けの健康管理支援サービスを提供する「テラーメイド健康管理支援事業」などを展開してきました。

当初には「事業再生プラン2009」を策定し、当社グループの基盤技術であるPGx技術を軸に、より収益性の高い事業に経営リソースを集中するとともに、コストの削減を図り、営業損益の早期黒字化を目標として事業を推進してきました。

しかしながら、昨今の厳しい経済情勢を受けて、当期の連結業績は、売上高が266,239千円(前年同期比136,237千円減)、経常損失が609,533千円(前年同期比351,256千円減)、当期純損失が615,542千円(前年同期比396,806千円減)となり、遺憾ながら、黒字化を達成することはできませんでした。

今後も引き続き事業再生プランの方針である収益性向上に努めるとともに、当社株式の公開買付けにより2009年12月から新たに当社の筆頭株主となりました(株) モンスター・ナインと積極的な事業展開を図ってまいります。

株主・投資家の皆様には、引き続きのご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
橋本 康弘

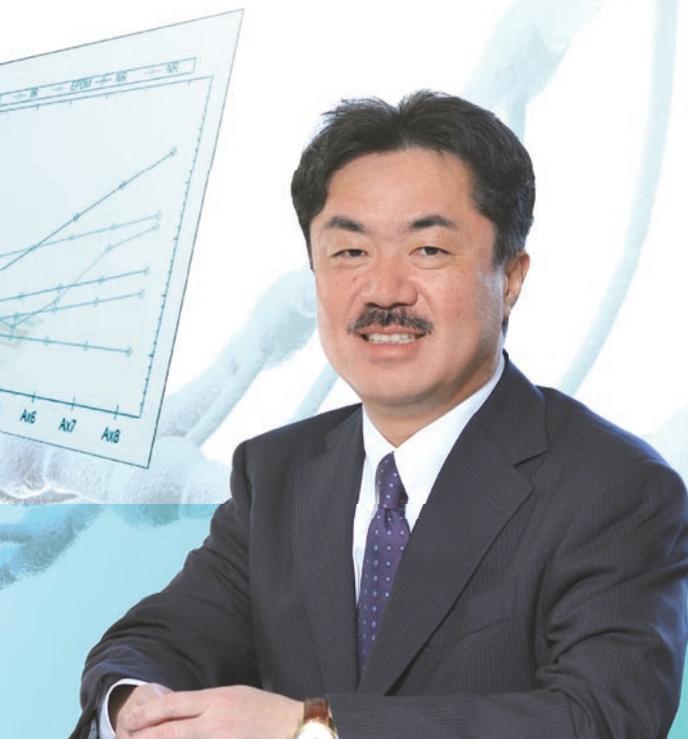
株式会社メディックグループ 第10期 報告書

2009.1.1～2009.12.31

免責事項

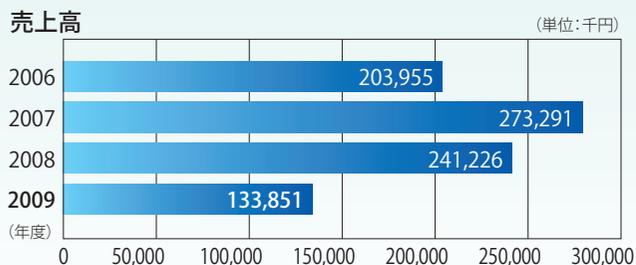
本誌に掲載されている業績の見通しなど将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて当社経営陣が合理的と判断したものです。実際の業績などは、市場動向、経済情勢などさまざまな要因の変化により大きく異なりうる可能性がありますことをご承知おきください。

証券コード:2369



営業活動のご報告

バイオマーカー創薬支援事業



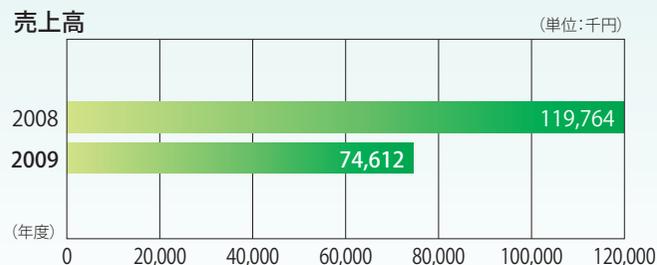
バイオマーカー創薬支援事業では、ファーマコゲノミクス (PGx) 試験支援サービス、情報処理システム開発およびRNA増幅試薬の販売など、各分野で順調に受注を獲得しており、リピーターとなる顧客も増加しています。

PGx試験支援サービスの分野では、2009年3月に日本臨床検査医学会、日本人類遺伝学会、日本臨床検査標準協議会により「ファーマコゲノミクス検査の運用指針」が暫定的に策定されるなど、PGxに関する基盤整備が進んだことから、当社サービスへのニーズが高まっており、業務範囲を拡大することで、順調に受託プロジェクト数を増やしています。

一方、情報処理システム開発の分野では、従来から提供しているPGx関連のサポートシステムが継続的な引き合いや保守サービスなどで売上を確保しています。加えて、当期からは基盤技術領域で培ってきたシステム構築技術、解析技術を活用して開発したパッケージソフトウェア「MDSS配合設計データベース」の販売を開始し、追加販売している「自動モデル化・シミュレータ」とあわせて積極的な営業活動に努めた結果、大手企業からの問合せ、受注が増加しています。

以上の結果、当期のバイオマーカー創薬支援事業の売上高は133,851千円となりました。

テーラーメイド健康管理支援事業



テーラーメイド健康管理支援事業では、優位性の高いPGx技術における経験やノウハウを、個人向けの健康管理支援サービスへと発展させた「DNAプライベートバンク」のソリューション構築や会員獲得活動を展開しています。

DNA検査により個人の体質を特定し、個々人に合った健康管理を提供する「DNAプライベートバンク」は、個人の先天的なリスクに応じた健康管理、ライフプランニングをお手伝いするサービスとして、2008年5月にスタートしました。

当期はサービス内容をより深く理解していただき、より多くの会員獲得につなげるために、株主優待の継続した実施に加えて、プライベートクラブ会員専用サイトへの広告掲載、IR説明会や個別ミーティングでのサービス訴求など、積極的なPR活動を推進しました。

また、会員の皆様に対し、各分野における最高品質のサービスをご提供できる体制を整え、個人のみならず法人までを対象として幅広く営業活動を行ってまいりました。

以上の結果、当期のテーラーメイド健康管理支援事業の売上高は74,612千円となりました。

創薬その他事業



創薬事業においては、これまで臨床開発を進めてきた抗がん剤「Glufosfamide (グルフォスファミド)」の共同開発、ライセンスアウト (特許権やノウハウなどの売却および使用許諾) について、パートナー候補との折衝を進めてきました。

当期は第II相臨床試験に向けた検討交渉について、従来の国内製薬メーカーだけでなく、アジアを中心とした海外の製薬メーカー、ベンチャー企業にも対象を拡大。現在も複数のパートナー候補との間で積極的な検討が進められています。

なお、創薬事業は研究開発段階にあるため、売上高の計上はありません。

投資・投資育成事業においては、ファンドの運営、投資助言活動のほか、営業投資有価証券の売却を行っています。

当期は資金化優先方針に基づき営業投資有価証券の売却を積極的に進めてきましたが、市況低迷の影響により未上場株式の流動性が悪化するなど、価格の下落傾向に歯止めがかからず、売上高は57,775千円に止まりました。

また、各投資先の事業状況などを厳正に精査した結果、営業投資有価証券評価損として216,181千円を計上しました。

その他事業については、特記すべき当連結会計年度における売上計上はありません。

TOPICS

1 遺伝子解析キットの製品ラインナップを拡大

当社グループは2009年5月、提携先である米国のNuGEN Technologies社が開発するRNA増幅キット「Ovation (R) シリーズ」の新製品として、「WT-Ovation™ One-Direct RNA Amplification System」の販売を開始しました。

RNA増幅キットは、DNAとともに重要な遺伝物質であるRNAの発現解析のために、医療・製薬分野の研究や臨床検査などで使用されています。今回の新製品は、従来品に比べてさらに微量なサンプルからのRNA増幅を可能としており、採取の難しい希少な臨床サンプルを用いる臨床医学分野など、さまざまな研究分野での利用が見込まれます。

2 パッケージ製品のラインナップ拡充で売上向上を図る

当社グループは製薬メーカーなどに提供する各種受託サービスのなかでも汎用性の高いものをパッケージシステムとして製品化することで、収益効率の向上に努めてきました。

当期はこうしたパッケージ製品のラインアップ拡大を図るとともに、顧客の研究現場に応じたカスタム構築サービスを展開することで、顧客満足度の向上を図りました。

パッケージ製品ラインナップ

匿名化システム	検体の匿名化作業を簡単に効率よく、かつ確実な個人情報保護を行うシステム
検体管理システム	検体情報・場所・量・履歴などを管理するトータルサポートソリューションシステム
配合設計データベース (MDSS)	原料、プロセス、評価の各データを一元管理することで、研究現場におけるデータ活用的高度化、効率化を実現するシステム
治験届エディター	治験に必要な申請などの事務処理効率化に寄与するシステム

3 「真空採血管」の製品化に向けて、株式会社カネカと契約締結

当社グループは、国内外ともに医薬品開発過程において重要性が増しているPGx試験を伴う臨床試験をサポートするため、検体の凍結保存、管理の効率化に寄与する「真空採血管」を開発。国内において特許を取得し、海外でも特許を出願中です。

このたび、株式会社カネカとの間に国内特許の実施許諾および外国特許の権利譲渡に関する契約を締結しました。

「真空採血管」は、今後同社において製品化され国内及び海外において販売されていく予定です。

4 開発中の抗がん剤について、米国における臨床試験が進展

当社グループは、米国のNASDAQ上場企業であるバイオベンチャー、スレッシュホールド社と抗がん剤「Glufosfamide (グルフォスファミド)」の共同開発契約を締結し、日本およびアジア地域における開発および販売権を有しています。

スレッシュホールド社は、グルフォスファミドの米国における開発および販売権を、同じく米国バイオベンチャーであるエリソン社に譲渡。当社との共同開発契約もエリソン社に引き継がれました。

これにより、グルフォスファミドの米国での第III相臨床試験が、エリソン社によって再開される運びとなり、開発進展の可能性が高まっています。こうした状況を踏まえて、当社も中国を含めたアジア地域の製薬メーカーなどに積極的な共同開発やライセンスアウトの交渉を行ってまいります。

来期の見通し

バイオマーカー創薬支援事業では、内外の研究機関をターゲットに、プロテオーム/メタボローム解析や遺伝子合成サービスなどPGx試験支援に関するソリューションを拡大しつつ、きめ細かなサービス提供に努めます。

また、情報システム分野では、パッケージソフトウェアの販売に止まらず、カスタマイズを含めたトータルソリューションとして、これまでのバイオ関連だけでなく、他業種にも販路の拡大を図ります。

テラーメイド健康管理支援事業では、個人向け健康管理支援サービス「DNAプライベートバンク」と、新たに当社筆頭株主となった株式会社モンスター・ナインの展開するスポーツ・エンターテインメント・ビジネスとの融合によって、より広範な人々にDNA情報を利用した安心で豊かな生活を提供できるよう、新たなビジネスモデルの検討を進めてまいります。

また、当期の有価証券報告書に継続企業の前提に関する事項の注記を記載することとなりましたが、こうした状況を解消すべく、安定した財務基盤の確立に向けて、収益の拡大と資産のキャッシュ化を推進します。

以上により、次期の連結業績予想として、連結売上高300百万円、営業損失250百万円、経常損失250百万円、当期純損失255百万円を見込んでいます

株式会社モンスター・ナインについて

設立 2005年2月9日

資本金 1,000万円

事業内容

テレビ番組やデジタルコンテンツの企画・制作、各種イベント・アトラクションの企画・制作・運営・管理など。現在までに『SASUKE』『スポーツマンNo.1決定戦』などのスポーツエンターテインメント番組や、人物情報バラエティ番組『ソロモン流』などの企画・制作のほか、日本初のスポーツテーマパーク『マッスルパーク』の企画・運営を行っています。

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	前期 2008年12月31日現在	当期 2009年12月31日現在
資産の部		
流動資産	899,487	394,349
固定資産	207,706	81,446
有形固定資産	19,319	490
無形固定資産	3,695	144
投資その他の資産	184,692	80,812
資産合計	1,107,193	475,796
負債の部		
流動負債	173,620	79,245
固定負債	1,436	—
負債合計	175,056	79,245
純資産の部		
株主資本	1,062,074	446,532
評価・換算差額等	△148,223	△62,932
新株予約権	14,759	12,265
少数株主持分	3,525	685
純資産合計	932,137	396,550
負債純資産合計	1,107,193	475,796

連結損益計算書

(単位:千円)

科目	前期 2008年1月1日～ 2008年12月31日	当期 2009年1月1日～ 2009年12月31日
売上高	402,477	266,239
売上原価	239,619	381,203
売上総利益	162,857	△114,963
販売費及び一般管理費	540,759	511,241
営業損失(△)	△377,901	△626,205
営業外収益	31,041	35,016
営業外費用	613,929	18,345
経常損失(△)	△960,789	△609,533
特別利益	4,448	17,400
特別損失	55,859	25,138
税金等調整前当期純損失(△)	△1,012,200	△617,271
法人税、住民税及び事業税	1,809	3,140
少数株主損失(△)	△1,662	△4,870
当期純損失(△)	△1,012,348	△615,542

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	前期 2008年1月1日～ 2008年12月31日	当期 2009年1月1日～ 2009年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△277,774	△379,650
投資活動によるキャッシュ・フロー	264,652	128,516
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,336	△2,217
現金及び現金同等物に係る換算差額	315	△1,417
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△16,142	△254,767
現金及び現金同等物の期首残高	302,924	286,783
現金及び現金同等物の期末残高	286,783	32,015

株式の概況(2009年12月31日現在)

発行可能株式総数	700,000株
発行済株式の総数	176,242株
株主数	8,383名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社モンスター・ナイン	70,000	39.72
橋本 康弘	22,325	12.67
泉 辰男	2,510	1.42
藤井 衛	1,686	0.96
竹野 健一	1,250	0.71
小餅 良介	1,133	0.64
青柳 満喜	1,000	0.57
鈴木 正輝	681	0.39
日本証券金融株式会社	559	0.32
長谷川 忠正	554	0.31

会社概要(2010年3月26日現在)

設立	2000年2月17日
資本金	20億5,839万円
所在地	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町27番2号 第二シバビル3階
社員数(連結)	22名(常勤役員を含む)
主要取引銀行	株式会社三井住友銀行 日比谷支店 株式会社三菱東京UFJ銀行 新橋駅前支店 株式会社三菱東京UFJ銀行 新橋支店
グループ会社	(株)メディビック / (株)メディビックファーマ (株)サイトクオリティ / (株)Asia Private Equity Capital
取締役	代表取締役社長 橋本 康弘 取締役 樋口 潮 取締役 小杉 文彦
監査役	常勤監査役 遠藤 宏 監査役 鈴木 保 監査役 半田 基

株主メモ

証券コード	2369
社名	株式会社メディビックグループ
発行済株式数	176,242株(2009年12月末現在)
株式の売買単位	1株
株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社
同連絡先	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-78-2031(通話料無料)

決算期	12月31日
定時株主総会	3月中
株主確定基準日	12月31日
公告の方法	電子公告により当サイトに掲載 (やむを得ない事由により電子公告できない場合は日本経済新聞に掲載)

※ご注意

株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(中央三井信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

MediBic

株式会社メディビックグループ

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町27番2号 第二シバビル3階
TEL:03-6415-4031
http://www.medibic.com/